(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。
※10 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき「水俣病」と認定されること。
※11 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。
※12 「新潟水俣病地域福祉推進条例」のこと。
※13 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて認定された患者さんには支払われません。



Q19 なぜ、水俣病は、近代の公害の原点といわれているのですか?



A19 食物連鎖を通じて起こった病気「水俣病」は、世界で最初に、化学工場からの排水で環境を汚染し健康被害を発生したことがわかったからです。

かつては、毒物は大量の水で薄められれば害はなくなると考えられていました。しかし、微量の毒物でも環境汚染と食物連鎖による中毒事件が起きたこと、また、胎児を守ると信じられていた母親の胎盤を通過して胎児に障害を与えた胎児性水俣病が発生したことなどは、これまで経験したことがなく、人類の将来を暗示させる事件であったことから、水俣病は公害の原点といわれています。



Q20 今日の社会に新潟水俣病の経験はどう生かせますか?



A20 私たちの周りには様々な環境問題があります。社会全体で改めて水俣病の経験と教訓を考えていきましょう。

食物連鎖を通じて発生した新潟水俣病は「人間も自然界の一部であり、人間が自然に及ぼす影響は思わぬ形で人間にかえってくる」ということを教えてくれました。

快適で便利な現代社会ですが、私たちのまわりには気候変動や種の絶滅、水や大気・土壌の汚染など、様々な環境問題があり、科学的な仕組みがわかっていない問題も多く抱えています。

水俣病は熊本で発生し、9年後に阿賀野川流域でも繰り返されてしまいましたが、何らかの異変に気づいた時点で、適切な対策を講じることの重要さを教えてくれました。

新潟水俣病の教訓の数々は、社会の様々な利害が複雑にからみあう状況の中で、科学的な仕組みを解明するとともに、相手の立場に立って考える心や問題の解決に向けて勇気を持って立ち向かうなど、心の中の問題も考えなければならないことを教えてくれています。

まだまだ私たちへの影響がわからないことがたくさんあります。私たち一人ひとりが新潟水俣病の経験と教訓を学び、これからの社会と自然を取りまく課題に向き合っていかなければなりません。

ちなみに、2013(平成25)年には、水銀の使用、排出、廃棄の各段階で、世界的に適切に取り組むため、水銀に関する水俣条例が採択されています。